

令和6年第64回水戸黄門まつり「水戸ふるさとみこし」担ぎ手の皆さんへ

水戸黄門まつり実行委員会・水戸神輿連合

日本最大級の市民神輿、今年で3度目の渡御による。規約を確認のうえ誓約書を提出し参加いただき感謝申し上げます。一般市民を含めた担ぎ手全員が肩を入れることができ、最後まで安全で盛大に運行できますよう、次の点にご協力をよろしく申し上げます。

【渡御運行規約・警察指示事項より】

■ 1 登録・絆纏・タグ

担ぎ手は、参加登録済みの方とします。

同好会の会員として登録した方は、必ず自会の絆纏を着用していただきます。

受付でお渡しした登録者用タグを、渡御中必ず着用願います。

各団体の代表の方は、発典式にご参列願います。

■ 2 一般担ぎ手の参加等

市民神輿として、一般の担ぎ手に前の親棒2本に優先して入っていただくので、同好会の担ぎ手の皆さんはサポートにご高配願います。

最初は、水神連・茨連・万燈連により担ぎ出します。ご理解を願います。

■ 3 棒の替わり方や割り振り等

今回も原則は決めません。決して無理・強引に入ろうとせず、運行管理者と十分にコミュニケーションをとっていただき、指示に従って替わってください。

※黒の仕切り絆纏、襷（水神連、友好団体2連合の担当者）

みこしの前から高張提灯までの間は空けてください。

馬を入れる際は木と笛を鳴らします。危険が想定される場合にも笛を鳴らします。

■ 4 渡御中のトラブル・事故防止等

いかなる場合においても、子どもも含めて神輿の上に乗らないこと。

喧嘩・神輿乗り等のトラブルは絶対に起こさないこと。

飲酒はしないこと。

入れ墨は出さないよう徹底すること。（子どもが見て驚くなど影響が懸念される）

喫煙については、公衆マナーを守ってください。

脱水症状を防ぐため、各自適宜水分・塩分を補給願います。

■ 5 その他

3連合所属会は、自会及び紹介団体の会員の行動について全面的に責任を負うこと。運行管理者の指示に従わない担ぎ手がいた場合、所属団体の参加を即時中止とさせていただきます。

トラブルが起きた場合、今後、水戸ではふるさとみこしを担ぐイベントは認められなくなるので担ぎ手各自が留意すること。

黄門まつり実行委員会では、熱中症対策として、お休み処やミスト扇風機などを設置しています。



クーリングシェルターの
詳細はこちら